

日本で最も早咲きの桜

土肥

まつり

# 桜

日時 平成28年1月30日(土) 10時から

場所 松原公園芝生広場

## イベント内容

- 旅館の板前さん特製弁当や地元飲食店の弁当販売
- 甘酒・味噌汁・餅つき無料サービス
- 土肥桜と文学史跡巡り無料ガイドツアー(定員30名)
- 粹鼓伝による和太鼓演奏
- 土肥桜の名所2カ所の画像をSNSにアップしたら土肥金山入場料を無料
- FMISのサテライトスタジオによる会場からの生放送&アーティストライブ

\*駿河湾フェリーにて「春らんまん!土肥桜まつり得とく乗船券」を販売

## 「土肥桜」とは...

日本で最も早咲きと云われる「土肥桜」は、土肥温泉地内に大小併せて300本ほど植栽されており、種々期に見頃を迎える珍しい桜です。「土肥桜」の由来は、八木沢小池地区の山林に自生していたとされており、この桜を広めたのが当時小下田に医院を開業していた故佐藤萬夫先生です。昭和33年頃、北海道大学の名誉教授故小川義雄氏が土肥来遊の折、佐藤医院に診察に訪れた際、診察室の花瓶に飾ってあったこの桜に惚れこみ、珍しい桜なのでぜひ殖やしたいと申し出、その年の秋に接木を行い、その苗木を次の年に佐藤先生が自宅などに植栽を行ったのがはじまりです。

特徴は、12月下旬から蕾がほころびはじめ、1月上旬に開花し、2月下旬頃まで咲き続け、花びらも大きくかつ全体が紅く染まり美しく、茎が長く一枝に6~7個の花をつけます。寒緋桜系の雑種で河津桜に似ていますが開花期が早いと花卉の色が濃いピンク、花卉のつけ根の重なりかたが異なります。「土肥桜」は、紅種(濃いピンク)と白種(薄い紅色がかった白)の2種類があり、紅種(濃いピンク)が、平成19年3月に品種登録がされました。

「土肥桜」は土肥地区各所に植栽されており、丸山スポーツ公園、恋人岬、万福寺、土肥金山、大久保里山、松原公園、土肥山川堤防沿い、土肥こども園等で長期間咲き続けます。

お問合せは...

伊豆市観光協会土肥支部

TEL0558-98-1212